

学校教育目標：よりよく生きぬく釜っ子《よく考える子・たくましい子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO5
令和 7年 7月18日(金)
8月 校長 玉置和也

夢や希望を育む夏休み

4月7日の始業式から始まった令和7年度。あっという間の4か月のように感じます。1年生と青空は、この間にひらがなをすべて学習しました。鉛筆の持ち方やよい姿勢、ていねいに手本に倣いながら書くことを学びました。算数ではノートの使い方を学び、足し算、引き算まで習いました。少しずつ賢くたくましくなっています。2、3年生は、この春から複式学級10名でスタートしました。国語や算数は別々の教室で学習しているので、昨年までと同じように学習を進めています。生活科の学習は1、2年生と一緒に学習をしているので、2年生がリーダーとなって司会をしたり、1年生に教えたりする姿がありました。もちろん、普段は2・3年生が一緒にいるので、学級活動など3年生が2年生をリードしています。このように複式学級のよさを発揮しています。先日の1、2年生の生活科では、咲いているアサガオの写真を撮り、教室に戻って、その写真を使う学習をしていました。2年生は1年生の子のタブレットの画面を指さし「ここだよ。」「こうするよ。」などと優しく1年生に寄り添い、困っている1年生を支えていました。1年生にただ教えるだけでなく、教えることから学ぶこともあり、よい学習ができています。4年生から6年生までも地域の方と関わる活動、日々の学習を積み上げてきています。釜戸小学校全校児童68名それぞれが生き生きと日々成長しています。



さて、7月初めに中京学院大学の看護学科の学生が、養護教諭の業務から学ぶ実習にやってきました。2日間の実習の最後に少し話をしたのですが、こちらが学ぶことばかりでした。

- ・学年関係なくみんなでドッジボールをしていて、たてのつながりがすてき。名前もわかっていて、「あつくない。」「水飲んできていいよ。」と声かけができる。本当にすごい。
- ・実習に来たすぐに、こちらが緊張しているのに「〇〇先生、おはようございます。」と子どもたちから声をかけてくれて、一気に気持ちが解れました。

と本校の様子から感想を話してくれました。また、2人は卒業後、看護師の道に進むそうです。とてもキラキラした目で本当に生き生きとしていました。最後に「小学生、毎日を全力で生きてる感じがして、私も学校に戻ったら一層がんばらねばと思いました。」と言って、2人は子どもたちの下校と一緒に釜戸駅に向かって帰って行きました。

明日から8月27日までの40日間の夏休みが始まります。学校の生活とは違う日々の生活になりますが、この40日間も子どもたちは成長します。のんびりするもよしですが、何かを体験する、作品づくりに没頭する、研究にのめり込む、お手伝いを続ける、スポーツに励む、たくさん本を読み好きな本を見つける、漢字ドリルをがんばるなど、何かをやってみたいと思います。夢に向かって突き進む学生さんとまではいかななくても、生き生きと何かをすることや、小さなことでもやってみることが、夢や希望につながります。よい夏休みを過ごしてください。